



「虹の森」通信

1月号 第51号

発行日 : 2020年12月21日

発行 : 虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

TEL 079-236-3224

さび

寒っ！冬

がいきなり来ましたね。ゆめさきの森公園も冬の到来で、景色が変わりました。急激な気温の変化にみなさん体調を崩されませんように。タイトルバックはあまりの急すぎる寒さに困ったような顔をしたマヒワです。マヒワはスズメよりやや小さく、きれいな黄緑色の羽根が印象的な鳥です。冬に群れで生活し、チューンとかキューンという特徴のある澄んだ声で鳴きます。でも、飼育するとすぐに死んでしまうようで、弱い鳥とかいてヒワ（鴉）と読みます。また金色のスズメ（金翅雀）と書いてヒワと読むこともあるようです。

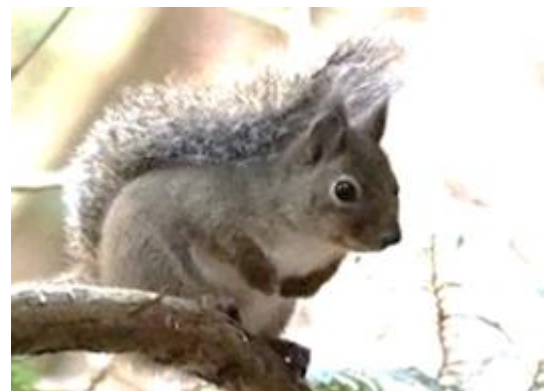


こちらは、冬によく見かけるキツツキ、アカゲラです。アオゲラの方は本州から屋久島まで、広範囲に生息していますが、このアカゲラは北日本の寒い地域が主な生息地。なので、ここいらでは冬に見れるのかな。キツツキの間は〇〇ゲラと呼ばれるのですが、このゲラの語源は、お寺の「テラ」が変化したものだそうです。お寺の木造建物をつつくことからテラツツキと呼ばれていたのが、ケラツツキになり、それが省略されケラになったようです。

最後は、森のマスコット、ニホンリスです。実物は何しろすばしっこくて、観察するのが大変。写真でその愛くるしさを堪能しましょうかね。虫も鳥も、み～んな冬ごもり。また来年ね。



こちらは、日本最大のテントウムシ、カメノコテントウムシです。よく見かけるテントウムシは5mmくらいがせいぜいなのに、こちらは1cmを超える大きさのものもあり、そのフォルムはまるでカブトガニのようで存在感たっぷりです。ツルピカで赤黒のきれいな柄がカメの甲らのようなので、この名前が付いたようです。寒い冬は木の皮の下や岩のすき間などに集まって、集団で冬を越します。とっても奇抜で美しい虫だけど、これが集っている姿は、少々グロテスクということで、見たいようで見たくないような・・・





環境爺(びびい)のつぶやきコラム

ぶつぶつ

いやあ、菅ちゃんの脱炭素宣言から以降、新聞の話題がコロナ以外は、脱炭素で埋め尽くされる日もあって、しばらく新聞の切抜保存をあきらめたほどじゃ。ここまで、環境がらみの話題が新聞を埋め尽くす日が来ようとは、さすがのワシも想定外じゃった。環境爺としてはうれしくもあり、ホンマかいなと疑う気持ちにもなるのお。なにしろ環境にかかわるハナシは眉唾ものが多いからのお。全くのウソや都市伝説みたいなことがまことしやかにささやかれるのが環境の世界じゃ。

ここにきて、GoToの一時中止発表で日本は大混乱じゃが、バイデン氏の大統領が確定したようじゃし、コロナのワクチン接種もようやく開始され、時代がジェットコースターのように目まぐるしく、ついていくのが大変じゃ。わが社も怒涛のような時代の潮流に弾き飛ばされんよう、うまく舵取りせんとなあ。

先月号で地球温暖化問題をおさらいしたので、すでに皆は温暖化評論家じゃろう。今回は、脱炭素についてどうすれば実現できるのか簡単に解説するとしてよう。

●まず第一にしなきゃならんのは、化石燃料の利用を止めることじゃ。当然、石炭・石油・天然ガスを燃やす火力発電は全廃じゃ。火力発電でもバイオマス以外のな。これに疑問を持ったとな？ バイオマス火力から出るCO₂はもともと大気中存在していたCO₂が循環しているだけなのでカウントはせん。でも化石燃料は、もともと地下深くに封印されていた炭素分を大気中に放出することになるからそこがポイントなんじゃ。化石燃料を使用禁止にすると。電源は再生エネか原子力しかダメということになるじゃろう。

●次に、自動車・単車・建設機械・ディーゼル自動車・汽船など内燃機関を動力とするものは全て廃止じゃ。

自動車はEVもしくは燃料電池車しかダメじゃ。

●さらに、先月話した製鉄、セメント、化学工業については製造方法を根本的に変え、エネルギー効率を徹底的に改善したうえで、それでも排出するCO₂については全て捕獲し、固化・液化して地下深くに押し込めて貯蔵しなければならん。

●また、家庭やオフィスでも今までとは全く次元の違う、徹底した省エネ・省資源を進めねばならんじゃろうな。もちろん、灯油やガスを使うなどもってのほか。暖を取りたけりゃあ、薪か炭じゃな。風呂も薪をくべて沸かさなきゃならんかもな。

●CO₂ではないが、牧場で飼われている牛の出すゲップに含まれるメタンガスも、温暖化ガスのひとつ。このゲップ、実は量が半端なく、温暖化ガス全体の6%にもなる(CO₂換算)と言う。よって牛肉はもう禁止じゃ。食いたけりゃあ、牛肉みたいな大豆肉を食わねばならん。大豆カルビに大豆ハラミじゃな。

と、まあこれらの具体策を行ったとしたら、いったい何が起こると思うかな。イギリスで起こった産業革命以来の、化石燃料を利用して成り立っていた文明そのものを否定することになるじゃろな。

多くの産業が衰退し、消滅することは間違いない。その結果、尋常でない数の失業者があふれかえることになるじゃろう。石油関連会社は業種を変え、街からガソリンスタンドはなくなり、自動車会社もEV製造だけになると半分ほどの人員で造れてしまうのじゃなかろうか。

その代わりに、今までなかった新たな産業が生まれ、それがグイグイ伸びてくるじゃろうな。水素製造に水素運搬、CO₂の固定化や地下埋設も一大産業になるじゃろう。そうなるとその新産業が、さきほどの失業者を全て受け入れることができるかがとても重要になってくるはずじゃ。

それで菅ちゃんは、脱炭素のための技術や社会のイノベーションに2兆円もの基金を用意しようと言うておるのじゃ。

世界の経済がコロナでべちゃんこにやられておる現状を、脱炭素経済で何とか立て直そうと世界が動き出した。それを「グリーンリカバリー」と呼ぶんじゃ。世界中の国々がグリーンリカバリーのリーダーになるべく、しのぎを削っておるのが現在の国際情勢じゃ

中国は、今回のコロナで世界から反発を受けておるので、汚名返上も込めてやる気満々じゃし、欧州も環境がらみでは最先端を走っているという自負と実績もある。そこへ満を持して、環境を前面に打ち出した超大国大統領バイデン氏の登場じゃ。これはもはや環境覇権を賭けた戦国時代じゃ。

ゆめゆめ日本も遅れをとるまいぞ。日本国内でも地域間、産業間、企業間での熾烈な覇権争いが繰り広げられておる。日鉄は2050年にCO₂排出ゼロを打ち出した。まさかの大英断じゃ。東京都は政府目標より早い時点でガソリン車販売を止めると宣言、セブンイレブンは脱炭素に5年で1000億円投じると発表。政府も脱炭素に優遇税制を導入するのは間違いなさそうじゃし、追加の経済対策73兆円は脱炭素・デジタルが最優先のようじゃ。

どうするどうする!? まごまごしておったらビッグウエーブに乗り遅れちゃうぞ。



ビッグウエーブと言えば海じゃが、「ブルーフラッグビーチ」を聞いたことはあるかの。それは、環境

国際団体・FEEが、厳しい基準を満たした砂浜、ヨットハーバーに与える認証の事じゃ。

FEEとはフランス発祥の国際団体で、環境教育を通じて持続可能な発展を目指し、1980年から活動を始めた。現在、68の国・地域が加盟する世界的にも認知度の高い団体じゃ。もちろん日本も、FEE Japanという組織名で本部の承認を受け、活動しておるぞ。そのブルーフラッグビーチは世界で4500カ所以上認定されておるが、日本はたったの4カ所だけ。若狭和田、由比ガ浜、須磨、本須賀の砂浜がそうじゃ。

日本で最初に認証を受けた若狭和田に、たまたまわしの友人がおって、先日、遊びに行ったところ、ブルーフラッグの話をしてくれて、とても興味を持ったというわけじゃ。



早速、くだんの砂浜を訪れてみたが、なるほどなんと美しい。ただ、100人を超えるであろうサーファーたちがブカブカと波待ちしておるのが少々邪魔じゃった。美しい景観を感じながら、きれいな砂浜を歩いて、ふとしゃがんで砂を見たら驚いた。赤青黄の砂粒大のマイクロプラスチックがいっぱい。瀬戸内の砂浜はそうでもないと思うが、日本海はプラスチックが大陸から直接流れてくるからか、その量にビックリじゃ。これはもう除去不能で手遅れじゃろ。ブルーフラッグビーチでさえ、このありさまとは何たる悲劇。廃プラがここまで自然を汚しているとは実感しておらなんだ。反省じゃ。脱炭素も手遅れにならぬようにしてもらわねばのお。

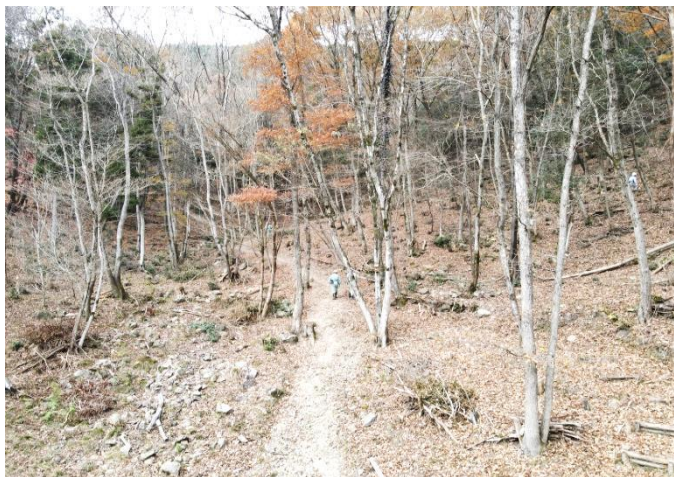
ぶつぶつ

虹の森なう

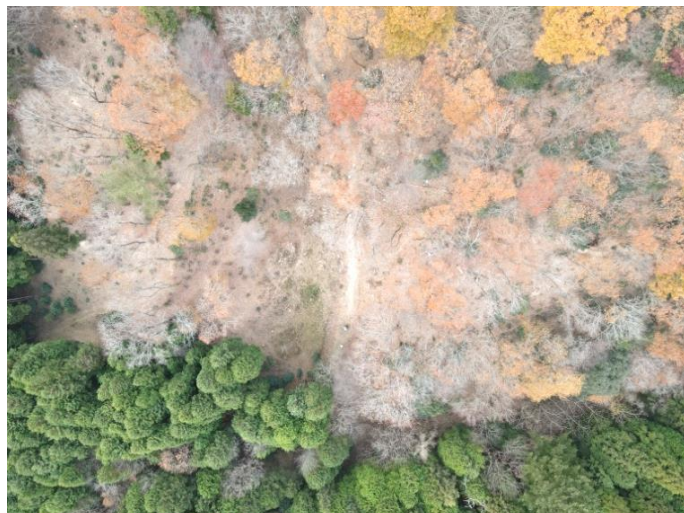
今回は、森林整備をするにほど良い気温。森についたら早速、シイタケ栽培のホダ木の選定にかかったのですが、ちょうどよい太さのコナラがもう少なくなっていたので、虹の森の上へ上へと移動し、斜度のきつい場所での作業となりました。その為、足場が安定せず、あっちでコロソ、こちらですってんコロソと、なかなか思うように進みません。



それでも、なんとか予定の本数は伐り倒せたので、ここから2ヶ月程、その場で寝かせます。後は、玉切りして運び出す作業ですが、それがちょっと大変そうです。できるだけたくさんの人の応援をお願いしたいです。



ドローンによる空撮では、森がすっかり落葉しているさまがよく分かりますね。



因みに虹の森のエリアは上の写真の下方のスギの木より上の部分です。広さはこの写真に映っている部分の約4~5倍くらいあるのですよ。こうしてみると結構広い敷地ですよ。



ホダ木伐りの作業の後は、いつもの雑木伐採と尾根道づくりをしてさらにエリア拡大を進めました。でも伐採ばかりでは、森じゃなくなりますので、そろそろ将来のためコナラの苗を新しく植えなくちゃと思います。温かくなったら、せっせと植林だ。

第63回 森林整備の案内と参加者募集

年末年始をGoToで楽しもうと思っていた皆さん気の毒な事でしたね。コロナの感染拡大防止のためには仕方ありません。いかがですか、悔しい思いを森林整備でスキッとさせませんか。落葉してすっきりした森は見通しがよくなって整備しやすくなっていますよ。

日時： 1月16日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

場所： 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

申し込み： 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止のメールを携帯に送信いたします。